

ベースロード市場について

2026年1月23日

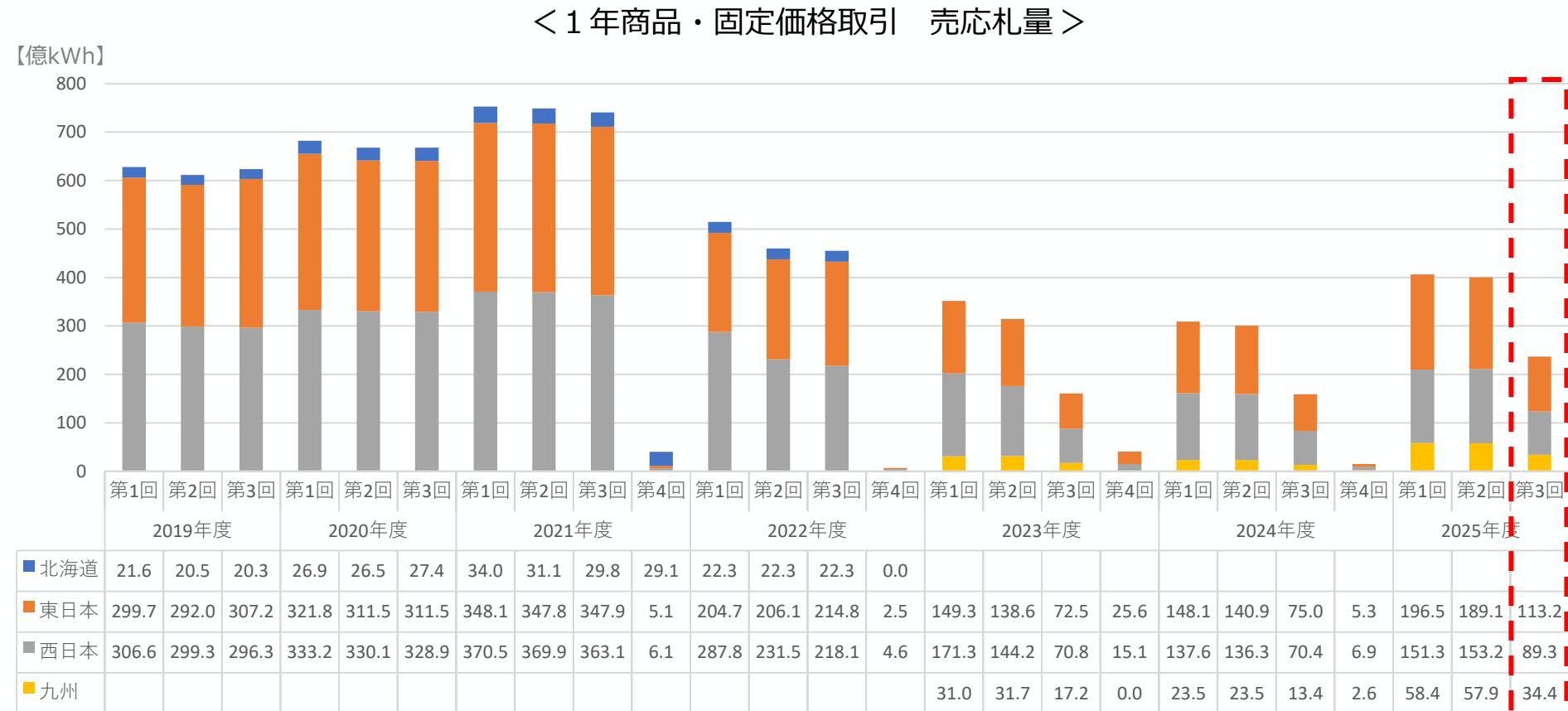
資源エネルギー庁

はじめに

- 第108回制度検討作業部会（2025年10月29日）では、2025年度第1回オークション、第2回オークションの結果を御報告した。
- 今回は、2025年11月26日、28日に2025年度第3回オークションが行われたことから、その結果を御報告させていただきたい。

2025年度第3回オークションの売応札量（1年商品・固定価格取引）

- 売応札量は、2025年度第3回オークションにおいて約236.9億kWhとなり、2024年度第3回オークションの売応札量の約149.2%となった。
- 昨年度同回よりも売応札量が増加した要因としては、新電力の売応札の増加や、制度的供出量の増加等が考えられる。

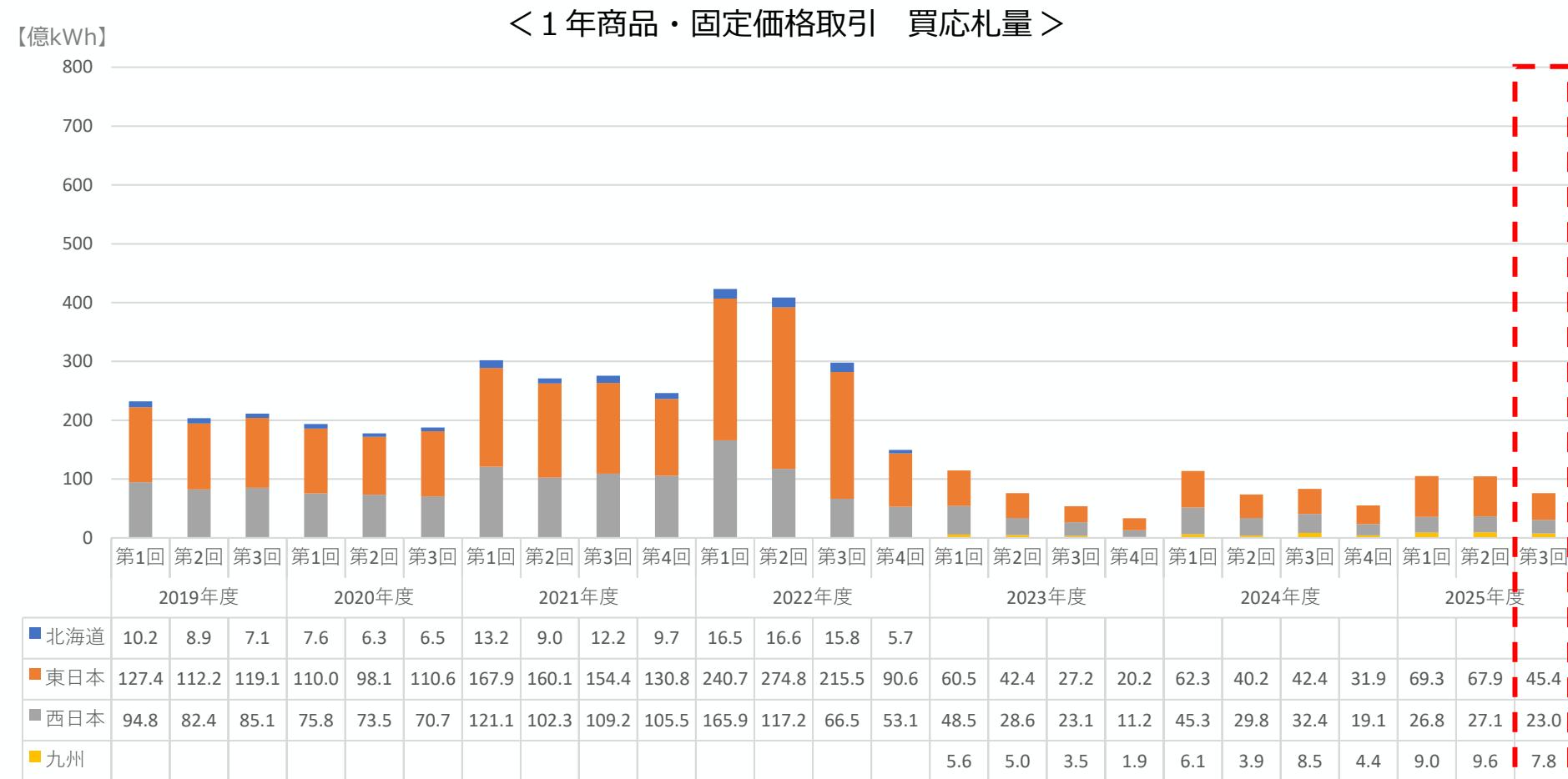


※1 表示単位未満は四捨五入

※2 ベースロード市場の市場範囲については、2022年度まで北海道、東日本、西日本、2023年度以降は東日本、西日本、九州となっている

2025年度第3回オークションの買応札量（1年商品・固定価格取引）

- 買応札量は、2025年度第3回オークションにおいて約76.2億kWhとなり、2024年度第3回オークションの買応札量の約91.5%と大きな変化は見られなかった。

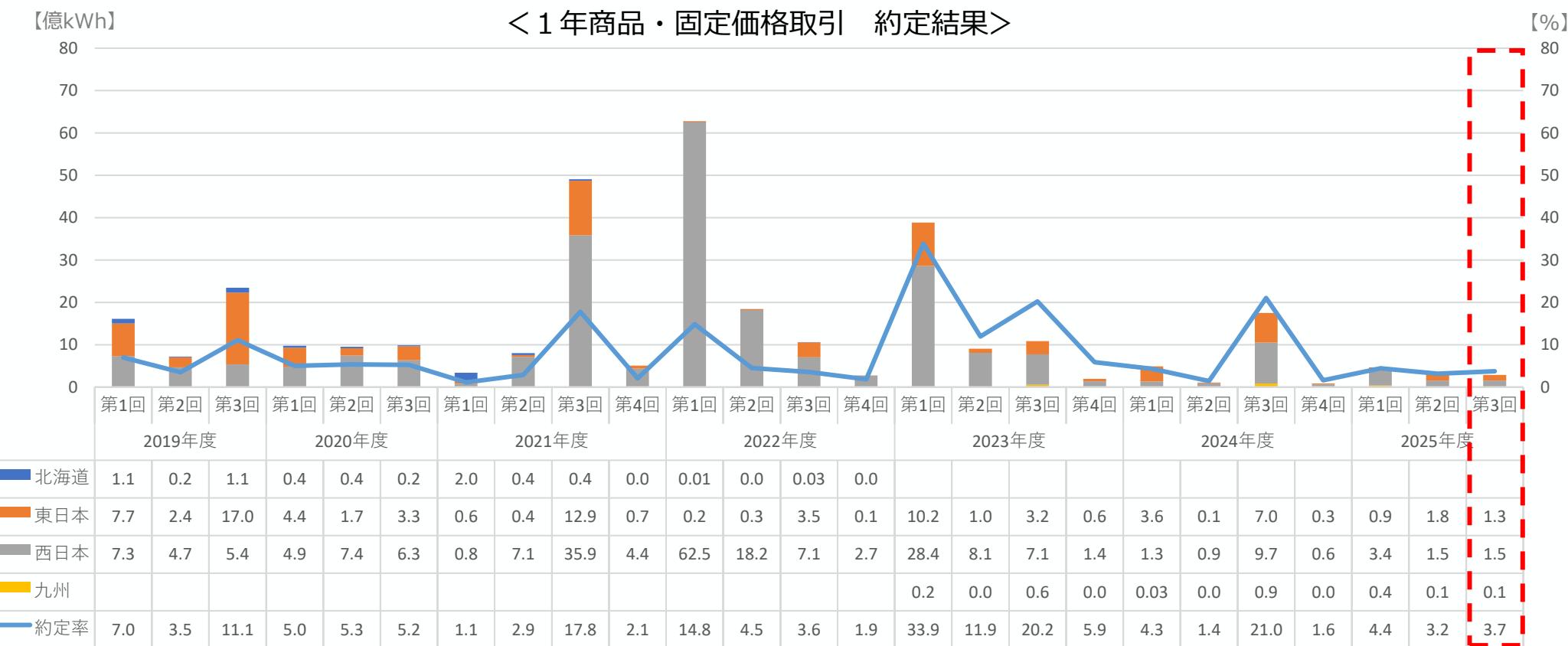


*1 表示単位未満は四捨五入

※2 ベースロード市場の市場範囲については、2022年度まで北海道、東日本、西日本、2023年度以降は東日本、西日本、九州となっている

2025年度第3回オークションの約定結果（1年商品・固定価格取引）

- 約定量は、2025年度第3回オークションにおいて約2.9億kWhとなり、2024年度第3回オークションの約定量の約16.3%となった。
 - 約定率（約定量/買応札量）については、2024年度第3回オークションの約定率が約21.0%であったのに対し、2025年度第3回オークションは約3.7%だった。

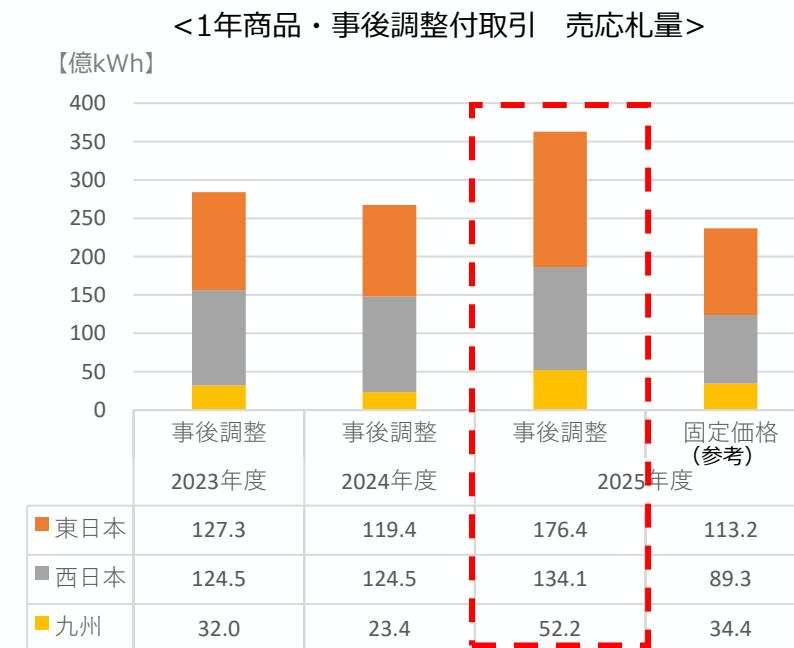
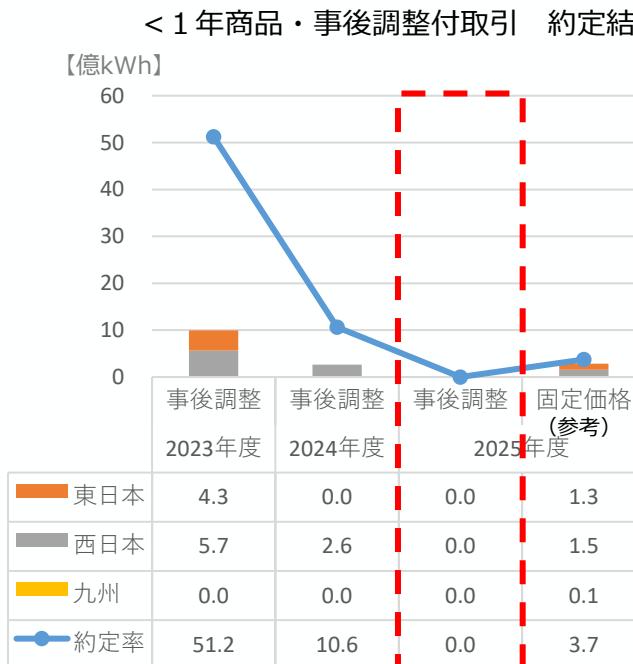


※1 表示単位未満は四捨五入

※2 ベースロード市場の市場範囲については、2022年度まで北海道、東日本、西日本、2023年度以降は東日本、西日本、九州となっている

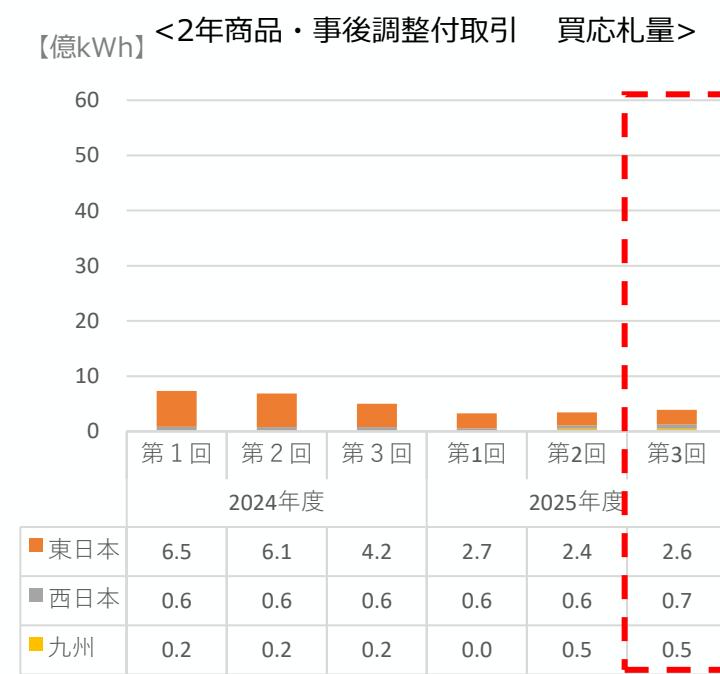
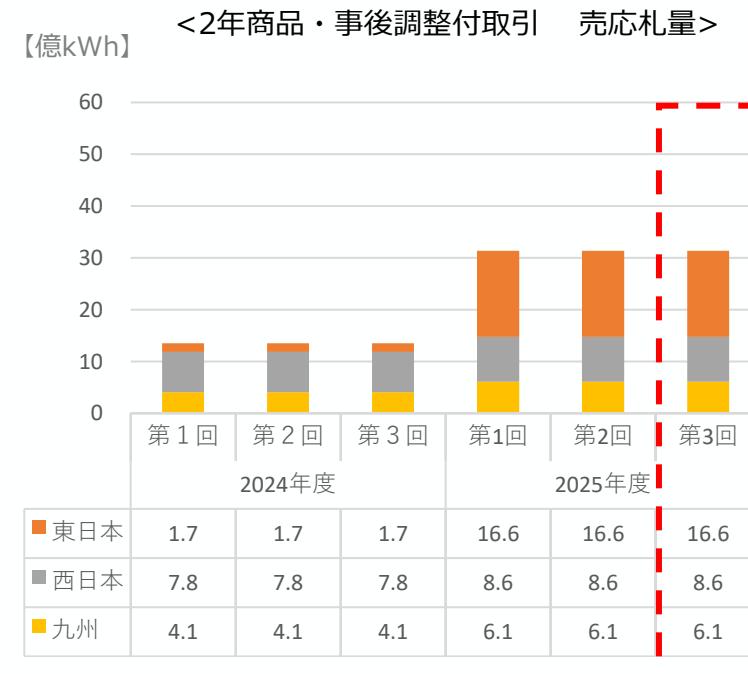
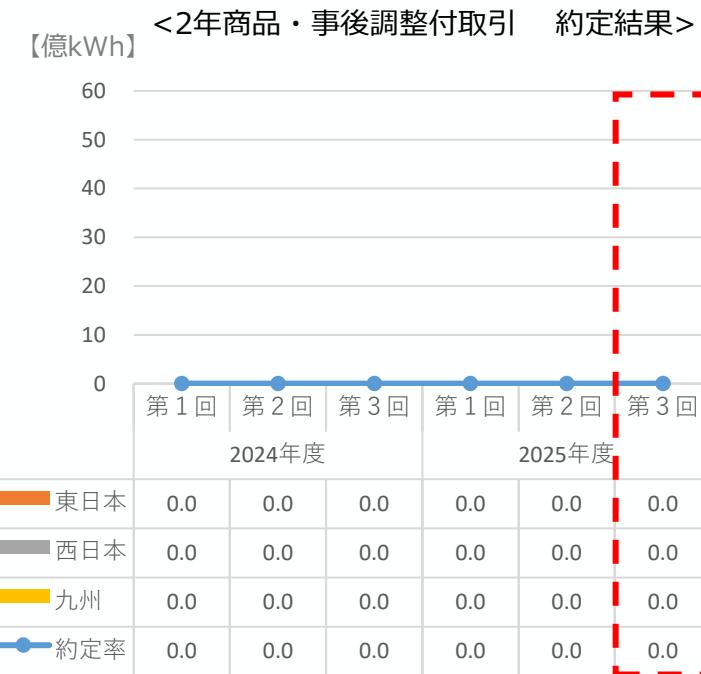
2025年度第3回オークションの約定結果（1年商品・事後調整付取引）

- 1年商品（事後調整付取引）は、2024年度第3回オークションにおいては、約定量は約2.6億kWhであったが、2025年度第3回オークションにおいては、全エリアにおいて約定はなかった。
- 売応札量は約362.7億kWhとなり、2025年度第3回オークションにおける1年商品・固定価格取引の売応札量の約153.1%となった。また、2024年度第3回オークションと比較した売応札量は約135.6%であった。
- 買応札量は約18.0億kWhとなり、2025年度第3回オークションにおける1年商品・固定価格取引の買応札量の約23.6%となった。2024年度第3回オークションと比較した買応札量は約72.8%と減少した。



2025年度第3回オークションの約定結果（2年商品・事後調整付取引）

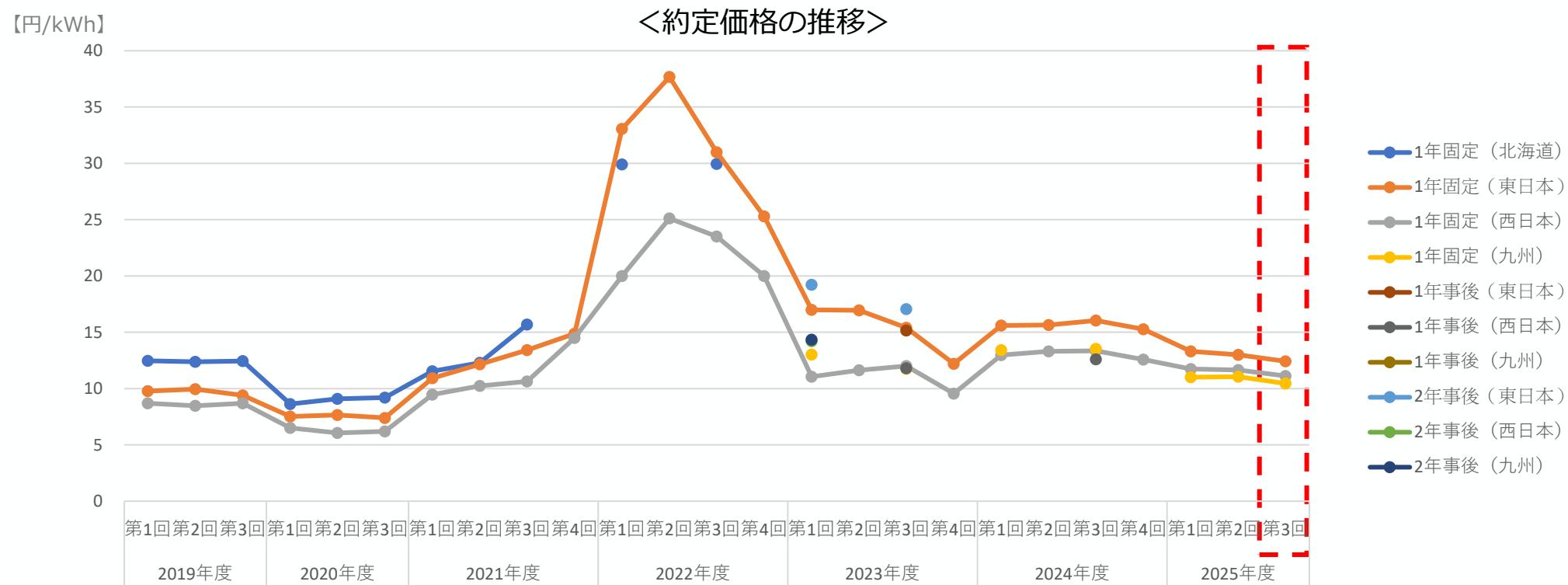
- 2025年度3回オークションでは、2024年度のオークション、2025年度第1回、第2回オークションに引き続き、全エリアにおいて2年商品の約定はなかった。
- 売応札量は、約31.4億kWhとなり、2024年度第3回オークションの売応札量の約231.7%となった。これは、制度的供出量の増加等が要因と考えられる。
- 一方、買応札量は、約3.9億kWhとなり、2024年度第3回オークションの買応札量の約77.4%となった。



※ 表示単位未満は四捨五入

2025年度第3回オークションの約定結果（約定価格）

- 2025年度第3回オークションにおいては、1年商品・固定価格取引のみ約定があり、各エリアの約定価格は、東日本エリアで12.42円/kWh、西日本エリアで11.13円/kWh、九州エリアで10.45円/kWhとなった。
- 同商品の2024年度第3回オークションの約定結果と比較すると、各エリアの約定価格は、東日本エリアで約0.77倍、西日本エリアで約0.84倍、九州エリアで約0.77倍であった。



(参考) 2025年度第3回オークションにおける事後調整係数

- 事後調整付取引においては、買手のリスクを緩和する観点から、入札前に調整係数※1の公表をしている。
- 2025年度第3回オークションにおいては1年商品、2年商品ともに事後調整係数が設定された。事前公表値（加重平均）は、第1回・第2回オークションに引き続き、九州エリアが他エリアと比較して低い結果となった。

<事後調整係数（1年商品）>

2025年度 第3回	事前公表値			約定 加重平均
	最大値	最小値	加重平均	
東日本	0.37	0.31	0.35	-
西日本	0.41	0.09	0.33	-
九州※2	-	-	0.16	-

<事後調整係数（2年商品）>

2025年度 第1回	事前公表値			約定 加重平均
	最大値	最小値	加重平均	
東日本	0.37	0.33	0.35	-
西日本※2	-	-	0.31	-
九州※2	-	-	0.18	-

■供出上限価格と調整単価の算定に関する簡易イメージ（参考）				
基準石炭価格(①)	50,000円/ton	1,000円/ton 増加(⑤)	+1,000円/ton	1,000円/ton 下落(⑥)
想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)
石炭燃料費(①×②)	500,000百万円	石炭燃料費増加(⑤×②)	+10,000百万円	石炭燃料費減少(⑥×②)
修繕費	40,000百万円			▲10,000百万円
減価償却費	50,000百万円			
その他固定費	210,000百万円			
容量確保契約金額	▲100,000百万円			
合計(③)	700,000百万円			
BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)
供出上限価格(③/④)	14.00円/kWh	+0.20円/kWh		▲0.20円/kWh
調整単価 (平均石炭価格が1,000円/ton変動した場合の円/kWh当たりの変動額)	0.20円/kWh			

2025年度 第2回	事前公表値			約定 加重平均
	最大値	最小値	加重平均	
東日本	0.37	0.33	0.35	-
西日本※2	-	-	0.31	-
九州※2	-	-	0.18	-

2025年度 第3回	事前公表値			約定 加重平均
	最大値	最小値	加重平均	
東日本	0.37	0.33	0.35	-
西日本※2	-	-	0.31	-
九州※2	-	-	0.18	-

(出所) 第82回制度設計専門会合（2023年2月20日）資料6より抜粋

※1 供出上限価格の算定の際に用いる諸元（燃料の想定消費数量、想定発電量等）に基づき算定される、石炭価格が1,000円/トン変動した場合の変動額（円/kWh）

※2 売手側の制度的供出者が2者以下のため、加重平均値のみ事前公表される

今後のスケジュール等について

- 現在、第4回オークションの入札を実施中。
- 第4回オークションは1年商品・固定価格取引のみの実施となり、大規模発電事業者からの供出は任意となる。

<今後の取引スケジュール>

	受渡期間	取引価格	入札期間	取引実施日
第4回	1年	固定価格取引	2026年1月20~30日	1月30日

<各オークションにおいて取り扱う商品>

	第1回（8月）	第2回（10月）	第3回（11月）	第4回（1月）
1年商品 受渡し期間1年 (制度的供出量割合 ^{※1})	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (42.5%) 事後調整付取引 (42.5%+α ^{※3})	固定価格取引 (任意供出)
長期商品 受渡し期間2年 (制度的供出量割合 ^{※2})	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	-

※1 同年度オークションの約定量及び適格相対契約控除量等を除く

※3 第3回オークションの固定価格取引において約定しなかった売札量a

※2 前年度及び同年度オークションの長期商品約定量及び適格相対契約控除量等を除く